

複合システムデザインのためのX型人材育成/大阪大学 大学院工学研究科 機械工学専攻
文部科学省「大学院教育改革支援プログラム」(2007～2009 年度)

Lasers, Flames, and Aerosols - some recent studies in combustion

講演会詳細

日時 : 2008 年 12 月 8 日 16:00～17:30

場所 : 機械系 M4 棟 101 講義室

企画者 : 中塚 記章 (大阪大学 大学院工学研究科機械工学専攻 博士前期課程 2 年)

講演者 : Derek Dunn-Rankin 教授

(Mechanical and Aerospace Engineering, University of California, Irvine)

講演題目 : Lasers, Flames, and Aerosols – some recent studies in combustion

講演内容 : 化石燃料の枯渇と環境負荷という地球規模の問題という観点から、基礎的な燃焼過程の解明への要求はかつてないほど高まっている。本講演では、一つの話題に絞るのではなく、近年 University of California で行なっている燃焼研究の概要を述べる。その燃焼研究は、小型液体燃料燃焼器の効率改善、拡散・部分予混合火炎の発電への利用、液滴燃料流の微粒化の制御、石炭ボイラー内での硫酸アンモニウムの生成や灰分・炭素分の制御、小型 HCCI エンジン等多岐に及ぶ。

講演会後記（感想／反省点）

講演者の変更などでご迷惑をお掛けしたにもかかわらず、企画講演の手配をして頂いた大学院教育プログラムの関係者の方々に感謝致します。直前の連絡となってしまう、特に先生方の参加人数が少なかったことが残念です。しかし、講演そのものは素晴らしい内容でした。学術的な内容はわかり易くまとめて頂くと共に、研究者としての考え方、日米の教育システムの違いなどについて話して頂き、学生・教員双方にとって有益な講演であったと感じました。ただし、学生からの質問や意見が非常に少ないのが気掛かりです。これは私が講演会に参加する度にいつも感じていることです。自ら講演会を企画することで姿勢が変わると思うので、その意味でも学生企画講演は素晴らしいシステムだと思います。

